

タイトル「**2022年度危機管理学部(公開)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3510		
科目名	原子力と安全		
担当教員	関谷 直也		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	月 2		
講義室	1310	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門・危機管理		
科目の位置付け（開発能力）	■DPコード：学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E [学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP4-I [理解力・分析力] 文章表現・数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、 分析と加工を有効かつ円滑に行い、問題の解決につなげることができる。 ■CRコード：学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック(CR)との関連 E1 学識と専門技能(70%) 11 理解・分析と読解(30%)		
教員の実務経験	原子力災害について、下記の公的な役務を負ってきた。 東京電力福島第一原子力発電所事故の検証について ・内閣官房「東京電力福島原子力発電所における事故調査・検証委員会」（政府事故調）政策・技術調査参事、 ・原子力損害賠償紛争解決センター「東京電力福島原子力発電所事故による原子力損害の和解の仲介に関する調査」座長 原子力防災・避難について ・新潟県「複合災害検討委員会」委員 ・原子力規制庁「原子力発電施設等緊急時対策技術等（緊急時の防災活動上必要な情報の整備）に係る調査委員会」委員 ・新潟県「新潟県原子力発電所事故に関する検証総括委員会」委員 ・新潟県「原子力災害時の避難方法に関する検証委員会」委員 原子力災害後の風評被害などについて ・福島県「新生！ふくしまの恵み発信協議会」委員 ・福島県ふくしまの恵み安全対策協議会「福島県産米の全量全袋検査のあり方に係る有識者会議」委員 ・経済産業省「多核種除去設備等処理水の取扱いに関する小委員会」委員 原子力災害のアーカイブに関して ・福島県「アーカイブ拠点施設研究・研修委員会」委員 ・浪江町「震災遺構検討委員会」委員		
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	原子力発電は戦後の日本のエネルギー政策を支えてきた重要な社会基盤の一つである。しかしながら、99年の東海村JCO臨界事故や2011年の東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所事故により、原子力発電の安全性、信頼性は大きく揺らぐこととなった。原子力とその関連施設は、日本においてどのように運営され、そしてどのように安全管理されているか、またその原子力事故が発生した場合、人々にどのような健康リスクが発生するか。原子力を取		

	り巻く安全について、原子力エネルギーをめぐる法制度、社会政策、科学技術的側面、そして、事故が発生した場合の危機管理、人々に与える影響など幅広い側面について、考察する。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにオンライン授業取り入れる場合があります。開講曜日・時限に授業動画配信及び課題等を提示します。 キーワード：東京電力福島第一原子力発電所事故、放射線・放射性物質、オフサイト／オンサイト、風評被害														
授業の趣旨	■副題 東京電力福島第一原子力発電所事故後の原子力災害・復興論 ■授業の目的 原子力事故後の原子力災害・放射線災害の特徴を理解し、原子力災害の全体像を把握し、原子力復興の意義を理解する。 ■授業のポイント 本授業では、主として、現在「原子力と安全」に関する社会的関心の中核として、東京電力福島第一原子力発電所の事故以降に問題になっている敷地外（オフサイト）の放射線物質汚染の社会的影響、経済的影響、心理的問題を中心にとりあげる。また、「安全」の概念的整理も行う。 なお、東京電力福島第一原子力発電所以外の原子力事故も含め、原子力事故そのものの、すなわち「原子力と安全」が関連するところの敷地内（オンサイト）の原子力発電所の管理・法制度については「大規模事故論」で詳細に扱う。「大規模事故論」と続けて受けると理解が深まる。														
総合到達目標	「放射線」「放射性物質汚染」を理解し、関連する資料を読解できる技量、それらを説明できる程度の学識を身につける。 「放射線災害の社会的影響」を理解・分析し、関連する資料を読解できる技量、それらを説明できる程度の学識を身につける。														
成績評価方法	■レポート1回(100%): 適用ループリック E1 (評価の観点)原子力事故の特徴と東京電力福島第一原子力発電所事故の特徴を理解し、原子力災害の全体像を把握し、原子力防災の意義を理解しているかどうか、知識を問います。														
履修条件	特になし。ただし、理解を深めるために「大規模事故論」を続けて受講することを推奨する。														
履修上の注意点	特になし														
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①テーマ ガイダンス ②概要 3.11後の原子力事故災害をどう理解するか、授業のガイダンスを行う。 ③予習（120分） 3.11後の原子力事故災害に関する文献について調べてくる。 ④復習（120分） 3.11後の原子力事故災害を理解する上で重要なポイントをまとめる。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①テーマ 3.11後の原子力事故災害の研究 ②概要 原子力と安全に関する研究について概観する。 ③予習（120分） 原子力と安全に関する研究を調べてくる。 ④復習（120分） 原子力と安全に関する研究についてについて確認する。 </td></tr> <tr> <td>3</td><td> ①テーマ 放射線の基礎知識 ②概要 放射線・放射能についての基礎知識を概観する。 ③予習（120分） 放射線・放射能についての基礎知識を調べてくる。 ④復習（120分） 放射線・放射能についての基礎知識を確認する。 </td></tr> <tr> <td>4</td><td> ①テーマ 放射線による被ばく ②概要 被ばく限量量についての概念とそれによる対応に関して議論する。 ③予習（120分） 線量について概要を調べてくる。 ④復習（120分） 20mSv/y (3.8μSv/h)、1 mSv/y (0.23μSv/h)、緊急被ばく状況、現存被ばく状況について確認する。 </td></tr> <tr> <td>5</td><td> ①テーマ 防護の考え方 ②概要 放射線防護について概観する。 ③予習（120分） 放射線防護の原則、線量限度、低減策を調べてくる。 ④復習（120分） 放射線防護の原則、線量限度、低減策を確認する。 </td></tr> <tr> <td>6</td><td> ①テーマ 環境モニタリング ②概要 福島第一原子力発電所事故後のモニタリングについて学ぶ </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①テーマ ガイダンス ②概要 3.11後の原子力事故災害をどう理解するか、授業のガイダンスを行う。 ③予習（120分） 3.11後の原子力事故災害に関する文献について調べてくる。 ④復習（120分） 3.11後の原子力事故災害を理解する上で重要なポイントをまとめる。	2	①テーマ 3.11後の原子力事故災害の研究 ②概要 原子力と安全に関する研究について概観する。 ③予習（120分） 原子力と安全に関する研究を調べてくる。 ④復習（120分） 原子力と安全に関する研究についてについて確認する。	3	①テーマ 放射線の基礎知識 ②概要 放射線・放射能についての基礎知識を概観する。 ③予習（120分） 放射線・放射能についての基礎知識を調べてくる。 ④復習（120分） 放射線・放射能についての基礎知識を確認する。	4	①テーマ 放射線による被ばく ②概要 被ばく限量量についての概念とそれによる対応に関して議論する。 ③予習（120分） 線量について概要を調べてくる。 ④復習（120分） 20mSv/y (3.8μSv/h)、1 mSv/y (0.23μSv/h)、緊急被ばく状況、現存被ばく状況について確認する。	5	①テーマ 防護の考え方 ②概要 放射線防護について概観する。 ③予習（120分） 放射線防護の原則、線量限度、低減策を調べてくる。 ④復習（120分） 放射線防護の原則、線量限度、低減策を確認する。	6	①テーマ 環境モニタリング ②概要 福島第一原子力発電所事故後のモニタリングについて学ぶ
回	内容														
1	①テーマ ガイダンス ②概要 3.11後の原子力事故災害をどう理解するか、授業のガイダンスを行う。 ③予習（120分） 3.11後の原子力事故災害に関する文献について調べてくる。 ④復習（120分） 3.11後の原子力事故災害を理解する上で重要なポイントをまとめる。														
2	①テーマ 3.11後の原子力事故災害の研究 ②概要 原子力と安全に関する研究について概観する。 ③予習（120分） 原子力と安全に関する研究を調べてくる。 ④復習（120分） 原子力と安全に関する研究についてについて確認する。														
3	①テーマ 放射線の基礎知識 ②概要 放射線・放射能についての基礎知識を概観する。 ③予習（120分） 放射線・放射能についての基礎知識を調べてくる。 ④復習（120分） 放射線・放射能についての基礎知識を確認する。														
4	①テーマ 放射線による被ばく ②概要 被ばく限量量についての概念とそれによる対応に関して議論する。 ③予習（120分） 線量について概要を調べてくる。 ④復習（120分） 20mSv/y (3.8μSv/h)、1 mSv/y (0.23μSv/h)、緊急被ばく状況、現存被ばく状況について確認する。														
5	①テーマ 防護の考え方 ②概要 放射線防護について概観する。 ③予習（120分） 放射線防護の原則、線量限度、低減策を調べてくる。 ④復習（120分） 放射線防護の原則、線量限度、低減策を確認する。														
6	①テーマ 環境モニタリング ②概要 福島第一原子力発電所事故後のモニタリングについて学ぶ														

	③予習（120分） モニタリングについて概要を調べてくる。 ④復習（120分） モニタリングの意義について考える。
7	①テーマ 外部被ばく：健康影響 ②概要 福島第一原子力発電所事故後の健康影響について学ぶ ③予習（120分） 事故後の健康管理、学校再開問題について概要を調べてくる。 ④復習（120分） 事故後の健康管理、学校再開問題の現状について考える。
8	①テーマ 内部被ばく：食品中の放射性物質 ②概要 福島第一原子力発電所事故後の食品の放射性物質汚染について学ぶ ③予習（120分） 事故後の食品の放射性物質汚染とその対策について概要を調べてくる。 ④復習（120分） 事故後の食品の放射性物質汚染の現状について考える。
9	①テーマ 放射線災害の社会的影響（1）風評被害 ②概要 事故後の「風評被害」について学ぶ ③予習（120分） 「風評被害」について概要を調べてくる。 ④復習（120分） 「風評被害」の社会的意味について考える。
10	①テーマ 放射線災害の社会的影響（2）国内の消費 ②概要 事故後の消費行動について学ぶ ③予習（120分） 事故後の消費行動について課題を調べてくる。 ④復習（120分） 事故後の消費行動について考える。
11	①テーマ 放射線災害の社会的影響（3）流通・給食 ②概要 事故後の流通・給食の問題について学ぶ ③予習（120分） 事故後の流通・給食の問題について課題を調べてくる。 ④復習（120分） 事故後の流通・給食の問題について考える。
12	①テーマ 放射線災害の社会的影響（4）海外の反応 ②概要 事故後の海外への心理的影響について学ぶ ③予習（120分） 事故後の海外への心理的影響について課題を調べてくる。 ④復習（120分） 事故後の海外への心理的影響について考える。
13	①テーマ 安全の概念論（1） ②概要 原子力における「安全」概念について学ぶ ③予習（120分） 原子力の歴史と安全、原子力の安全神話、武谷三男について調べてくる。 ④復習（120分） 事故後の海外への心理的影響について考える。
14	①テーマ 安全の概念論（2） ②概要 一般的な「安全」概念について学ぶ ③予習（120分） 安全の意味について社会的、言語的、時間的に考えて来る。 ④復習（120分） 安全の意味について社会的、言語的、時間的に整理する。
15	まとめ
関連科目	大規模事故論（RMGT3504）
教科書	特になし
参考書・参考URL	・ 関谷直也『風評被害—そのメカニズムを考える』（光文社） ・ 環境省「放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料（平成29年度版）」 [online] https://www.env.go.jp/chemi/rhm/h29kisoshiryo.html
連絡先・オフィスアワー	連絡先：開講時に告知する オフィスアワー：なし
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント80%；パブリックセキュリティ10%；グローバルセキュリティ10%；情報セキュリティ0% ■危機管理学と法学とのバランス 危機管理学80%；法学20%

